

国立循環器病研究センターにて過去に受診された  
高安動脈炎、巨細胞性動脈炎の患者さん、ご家族様へ

2022年2月1日

当センターでは以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報から得られた研究データをまとめるものです。この案内をお読みになり、この研究の対象者、ご家族様の方でご質問がある場合や、この研究にご家族の情報を使ってほしくないとのご意思がある場合は、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。お申し出による不利益は一切ありません。お申し出以降は、参加拒否以前に収集した情報は削除します。ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データからの情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】2007年1月1日～2022年1月31日の期間に当センターに受診歴のある高安動脈炎、巨細胞性動脈炎の患者さん

【研究課題名】大型血管炎の診断と治療の現状に関する観察研究

【研究責任者】国立循環器病研究センター 血管生理学部 部長 中岡良和

【研究の目的】近年新たな治療薬や画像検査が登場し、高安動脈炎と巨細胞性動脈炎の患者さんが受ける治療も変化していると思われます。そのため、患者さんがどのような治療を受けられてきたのか、またそれらの患者さんがどのような経過を辿っているのかを調べることで、現在治療を受けられている方や、将来同じ病気で治療を受けられる患者さんにより良い治療を提供することを目的としております。

【利用する診療情報】(情報) 基本情報(生年月、性別、診断名、診断日時、身長、体重、BMI、HLA\*、理学的所見、画像所見、合併症)、検査情報(血液検査所見、生理学的検査、細菌学的検査、画像検査、超音波検査、核医学検査)、手術/カテーテル情報(手術内容、前後の内科的治療内容、病理所見)、臨床経過(治療や病気に伴って発生した合併症およびその時の治療内容、死亡、血管炎の再燃)

\*HLA に関しては、病院カルテ情報または以前「大型血管炎におけるサイトカインプロファイリングとプロテオミクスによるバイオマーカー探索」にご参加いただいている場合には、そこで得られたデータを二次利用させていただきます。

【研究期間】研究許可日より2026年3月31日まで(予定)

【共同研究機関】なし

【個人情報の取り扱い】お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、匿名化した上で使用いたします。研究計画書を変更する場合があります。その場合は、研究倫理審査委員会での審議を経て、研究総括管理責任者の許可を受けて実施されます。

【問合せ先】 国立循環器病研究センター 血管生理学部 部長 中岡良和

電話 06-6170-1070(代表)